

かわうち かぶしきがいしゃ

は一とふる川内 株式会社

～障がいと共に生き、農業で働いて元気になる～



農園で働く社員



ノウフクマルシェ2022(東京・二子玉川)への出品

経緯

- 大塚製薬株式会社の特例子会社として障がい者雇用を進めていたが、知的障がい者へ十分な業務を提供できていなかった。
- トマトの生産・販売を手掛けるグループ会社からの提案により、障がい者雇用農園を設立。障がい者とともにトマトの生産販売を開始した。

取組内容

- 障がい者の新規職域開発として、ハウストマトの生産、ドライトマトの製造、販売を行う(6次産業化・農福連携)。
- 「とくしま安²農産物(安²GAP)」を取得し、安全な職場整備と安心安全なトマトを提供。
- 障がい者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定(もにす認定)を取得。
- ノウフクJAS認証事業者となり、全国的な農福連携の啓発を推進。

活動の効果

- 農業は知的障がいのみならず、精神障がいや発達障がいのある人の就労の場として活用できることを、自社の実績から証明できた。
- 障がい特性に応じた支援や指導を行うことで、職業人として農業に従事できるようになってきた。4名の知的障がい者の雇用から開始し、現在は8名まで増加。
- 障がい者雇用に関わるロールモデルとしてセミナーや見学会等を積極的に行い、各職域での障がい者雇用の推進を図っている。

応募団体からのアピール・メッセージ

これからもトマトの花言葉である「感謝」の気持ちを込めて、農福連携に取り組んで参ります。

住所・電話番号・SNS等

板野郡北島町高房字居内1-1 Tel:088-678-5276

いたのう
らーんずita農

～今度の休みがお天気だったら板野町で会いましょう～



スタンプラリーを併せたリーフレットの作製



農園ぶらんこペイントのイベント

経緯

- 徳島県板野町で農業や酪農を営む女性たちが集まってできた女性ファーマーグループ。
- 公務員や高校教師、保育士等の経歴を持つ個性豊かなメンバーが、板野町の「美味しいもの」や「季節の見どころ」をもっとたくさんの人に広めたいという思いで活動をスタートした。

取組内容

- メンバーはそれぞれ、直営カフェやジェラート店の経営、ジャム等の製造販売、観光農園等の6次産業化に取り組む。
- 農業を軸にして、町内散策マップを使ったスタンプラリーの実施、農園ぶらんこを使ったフォトスポットの創出、メンバー主催マルシェとのコラボイベントの開催。
- 地元板野高校の「とくしまエシカルアクション」プロジェクトに参画。エシカルやSDGsの学習の場を提供している。

活動の効果

- スタンプラリーや、マルシェ等のイベントを定期的に行うことで、町内のにぎわい創出につながっている。
- 農畜産物・加工品等の売上げの増加。地元農産物の消費拡大、地産地消への理解促進。
- 板野高校のエシカルプロジェクトでは、メンバーの前職(教師や保育士等)をいかした授業を行い、農業や酪農を通じて、地域の異世代との交流が広がっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

引き続き、町内散策マップの活用やホームページ、SNS等での情報発信により、板野町の基幹産業である農業を軸として、町内外の人に板野町の魅力発信を続けていきます。

住所・電話番号・SNS等

板野郡板野町古城字新町東9 Tel:090-8973-6611

け か さい せい

家賀再生プロジェクト

～家賀の藍は日本の桃源郷からの贈り物～



国内最大の傾斜地集落「ソラ」と呼ぶ家賀集落



ソラの藍畑は無農薬・無化学肥料

経緯

- つるぎ町貞光の「家賀」は、剣山系最大の約500mの標高差をもつ「ソラ」と呼ばれる日本最大の傾斜地集落。
- 徳島県内でも急激な過疎化が進む家賀地区に、以前の繁栄を復活させるため平成30年に家賀再生プロジェクトを発足。
- 戦前まで実施されていた藍栽培の復活で地域の活性化を目指す。

取組内容

- 傾斜畑でカヤ・落葉などを用いた伝統的な自然循環型傾斜地農法で「藍・野菜・雑穀」を栽培。「藍」は、食用等の用途として利用の幅が広がっており、パウダー化して販売。
- 多くの企業等と、ジョイント商品の共同開発。
- 農泊施設の誘致による、農業体験施設の開設。
- 地域資源の活用（茶、草木染、織物、薬草）にて、オリジナル商品を開発。

活動の効果

- 傾斜地農耕システムは、SDGsの取組に優れ、カヤ農法はカーボンニュートラル達成への手段として、評価されることとなった。
- 企業から、家賀地区と首都圏企業とのマッチング支援を受けた結果、食品関連会社が当地に農園を開設した。同園での作業に、農福連携により患者や家族会が参加するなどで、関係人口は延べ3,000人を超えた。

応募団体からのアピール・メッセージ

農業体験ツアー等を通して、持続可能な伝統農業として、SDGs、CO₂削減を提唱する。また、農家民宿、廃校の再利用等で情報発信の拠点作りや、新規就農者、リース法人の農業参入の支援を実施する。

住所・電話番号・SNS等

美馬郡つるぎ町貞光字大須賀44-8 Tel:088-367-1447

記念賞
応募

きとう

きょうぎかい

木頭ゆずクラスター協議会

～ゆず産地の存続を！木頭ゆずクラスターの取組～



木頭ゆずフェア



木頭ゆず祭り

取組内容

- 「木頭ゆず」の6次産業事業者と連携し、スーパーマーケットトレードショー・FOODEXなど全国商談会への出展や有名百貨店での「木頭ゆずフェア」等を実施。
- 大手流通企業と連携し、「木頭ゆず」の缶チューハイやポン酢、各種スイーツ等PB商品の全国販売、店舗でのPRイベントの開催、ネット通販などを実施。

前回選定後の情報発信の取組

- 「ディスカバー農山漁村の宝 チャレンジ賞」の受賞を契機に、テレビ、新聞、情報誌等の各メディアへ掲載されることで情報を発信。
- フランスの料理雑誌「Sushi」に木頭ゆずを使った郷土料理「かきまぜ」が掲載。
- Instagram等のSNSを活用し、「木頭ゆず」のPRやイベント情報を発信。また、視察の依頼を受入れ。

前回選定後に発展させた取組及び成果

- 木頭ゆずは、平成29年に徳島県産品としては初となる地理的表示保護制度(GI)を取得し、地域ブランドとしての地位を確立。
- 令和3年度に木頭ゆずを使った郷土料理「かきまぜ」が、文化庁の100年フードに認定された。令和4年度には、「かきまぜ」の100年フード認定を記念して、未来コンビニ(木頭)で第1回木頭ゆず祭りを開催し、「かきまぜ」の実演・販売などを行い、多くの観光客でにぎわった。

応募団体からのアピール・メッセージ

本協議会の活動を通して、「木頭ゆず」のブランド力強化を図り、生産者の所得を改善・向上させることで、山間部における「もうかる農業」の全国的な成功モデルとなるよう育成していきたい。

住所・電話番号・SNS等

那賀郡那賀町延野字王子原31-1 Tel: 0884-62-3776

記念賞
応募いっばんしゃだんほうじん おおほけ いや かい
一般社団法人大歩危・祖谷いってみる会

～ガストロノミー(美食)でインバウンドの復活を！～



世界農業遺産の農法や急傾斜地を体験



ガストロノミープロジェクト試食会

取組内容

- 「世界に通用する観光地域づくり」として、行政と連携したインバウンドの誘致や地域資源を生かしたイベントやツアーを企画・実施。
- コロナ禍となり新たに官民で「ガストロノミープロジェクト」を立ち上げ食でインバウンドの復活を実施。

前回選定後の情報発信の取組

- インバウンドへの取組は現地プロモーション、ファムトリップ等を実施し、それに伴う雑誌、テレビ、SNS等での情報発信。
- ガストロノミープロジェクトのアンバサダーである大桃美代子氏によるSNS等での事業情報の発信。
- ガストロノミーツーリズム国内フォーラムでの登壇、国際フォーラムへの出展。
- 令和2年、3年度末に東京で有識者に三好市の食を披露する「三好市フェア」を実施。

前回選定後に発展させた取組及び成果

- インバウンド客数が伸びていたところコロナ禍となり、国内外の集客数が激減した。こうした事象にぶつかり三好市、徳島県、DMO、大歩危・祖谷いってみる会で、新たに「ガストロノミープロジェクト」を立ち上げ食のブランド地域として復活を目指す。
- 「わざわざ美味しいものを食べに行きたい場所」への転換を目標に、世界農業遺産である「にし阿波の急傾斜地農耕システム」や酒蔵の見学等により地産地消と食レベル向上に取り組む。食のブランド地域として来訪者から評価を受けるよう鋭意実施中。

応募団体からのアピール・メッセージ

「100年後も美しい大歩危・祖谷であるために」

この理念は美しい風景がいつまでも残り、そこに住む人々がいきいきと暮らすことができ、世界中の人々を魅了する場所であり続けることを希望している。

住所・電話番号・SNS等

三好市池田町松尾松本367-28 Tel:090-3397-8341

記念賞
 応募

 か も だ に げ ん き
 加茂谷元気なまちづくり会

～個性とチームワークで住民主体のむらづくり～



都市圏での就農誘致活動



移住就農希望者への農業体験ツアー

取組内容

- 空き家、空き農地を活用した移住・就農を促進させるため、都市部での移住就農誘致活動を実施。
- 地元で採れた農産物のスーパー等店舗内の産直市への共同出荷。
- 農村RMO形成を推進するため、加茂谷RMO推進協議会を発足させ、事務局として農地保全・生活支援等に取り組む。

前回選定後の情報発信の取組

- 徳島県移住コーディネーター養成講座の講演を年2、3回実施。
- 令和2年度から、徳島県初年度職員短期研修の受入開始。
- ホームページに移住就農者の紹介コーナーを新設した結果、移住につながる。
- オンラインで実施していた都市部の移住就農誘致活動を、令和5年度から現地での対面方式で実施。

前回選定後に発展させた取組及び成果

- 令和3年5月から路線バスが廃線となった地区において、介護保険を利用した高齢者移送支援サービス「ご近所ドライブパートナー制度」を開始。
- 令和4年1月から、フードロス削減のため、産直市に出荷できない葉物野菜の外葉や極度に変形した農産物を、週に1回程度、近隣の動物園にエサとして提供。
- 令和5年7月28日に加茂谷RMO推進協議会を発足させ、事務局として取り組む。

応募団体からのアピール・メッセージ

これまでの取組の展開により、少子高齢化が進む中山間地域において、地域コミュニティを維持する方策に関して検討を実施していきたい。

住所・電話番号・SNS等

阿南市細野町中上17番地 Tel:090-1176-3133 <https://kamodani.sakura.ne.jp/>

記念賞
応募にい きよ
新居 希予

～歴史に眠る食材で地域まるごと表現する農業～



新居 希予さん



伝統食材の継承と復活・栽培・製造



プロデュースしている弥生紫

取組内容

- 伝統黒米「弥生紫」をプロデュースし、「フード・アクション・ニッポン アワード 2016」で受賞。
- 耕作放棄地の茶畑を再生させ、阿波晩茶を製造。
- 食育活動として、伝統食材の提供、定木を使う昔の田植や石包丁を使った稲刈り等の農業体験の実施、学校向け食育だよりの発行。

前回選定後の情報発信の取組

- テレビ、ラジオ、新聞、YouTube等のSNSを活用し、徳島県の食文化や伝統食材の魅力を発信。
- 伝統食材クリエイターとして、地産地消の啓蒙活動を実施。
- 出身地の兵庫県多可町と徳島県阿南市から農産物や特産物のPRをするためのアドバイザー委嘱を受け、分かりやすく食の魅力を伝える。

前回選定後に発展させた取組及び成果

- 令和3年に県産の食材をPRするためのグッズ開発を開始。注文を受けイギリスから発送し、国内外での販路開拓に取り組む。
- 令和2年から大学の阿波晩茶研究チームに協力。令和4年に徳島県海洋教育学校や漁協・海洋学者等の他事業分野と新たに連携。
- 令和5年に「食農教育協会」を設立し、食と農業と教育を結びつける活動を開始。県内高専の農業の部活に農家やJAの協力を得て農具の提供を実施。

応募団体からのアピール・メッセージ

地域の伝統食材を生産・継承・復活し魅力発信！食を大切に思う人々と連携し地域まるごと表現中！

住所・電話番号・SNS等

YouTube:なかがわ野菊の里 Facebook:新居希予 X:@nii_nogiku

記念賞
応募

ご っ っ お あ わ

GOTTSO阿波

～野菜でまちおこし！若手農家たちの奮闘記～



「新」ブランド野菜 ミニ白菜の「ミルフィ～菜」



高校生による美～ナスのレシピ開発、SNSでの広報

取組内容

- 翡翠ナスの産地化に取り組み、「GOTTSO美～[®]ナス(以下「美～ナス」という。)」の名称で、新たな阿波市特産品として生産。
- ブランド野菜として都市部への販路を開拓。
- グローバルGAP、とくしま安²農産物(安²GAP)(優秀)を取得。
- こども園や小学校での食育活動。

前回選定後の情報発信の取組

- 2020東京オリンピック・パラリンピック選手村に美～ナスを納品するという目標を達成し、世界中の人に自分たちの野菜を食べてもらうことができた。
- 2025大阪・関西万博のパビリオンに、「徳島県阿波市の農業」として関わられるよう活動。
- グループの活動を、優良事例に認めていただいたことで、メンバーの自信と誇りにつながった。

前回選定後に発展させた取組及び成果

- 冬のミニ白菜「ミルフィ～菜」を新しいブランド野菜として栽培。小ぶりサイズで新鮮なまま使い切れるため、食品ロスの削減にも貢献できる。
- 食育を受けた子どもたちが大きくなり、高校や大学で「美～ナス」や「GOTTSO阿波」が研究題材となることが増えた。
- 飲食店との販路を持つ卸売業者とつながり、全国の飲食店へ販路が拡大している。

応募団体からのアピール・メッセージ

子どもたちや若い人たちに「農業」を職業の選択肢のひとつとして挙げてもらえるよう、楽しく、格好良く、活動を続けていきます。

住所・電話番号・SNS等

HP: <https://gottsoawa.com> E-mail: gottsoawa@gmail.com

記念賞
応募

くろかわ しんたろう

黒川 真太郎

～田舎の宝を活かした小さな6次産業と食育～



阿南市役所内でお米パンの販売



月1回のラジオ生放送・情報発信

取組内容

- 環境保全型農業で農産物を栽培。お米を使ったパンを製造し、「おやつ的小屋」という店名のパン屋で販売。
- 休園した幼稚舎を有効活用し、学童保育を開設。
- 「子供の食堂」を立ち上げ、地域の子供たちが旬の地元食材を調理することにより食育を実施し、地域住民との交流の場となる。

前回選定後の情報発信の取組

- 地元地方新聞、阿南市の月間広報誌に「ディスカバー農山漁村の宝」に選定されたことが掲載。
- 平成28年からレギュラー出演しているラジオ番組で「ディスカバー農山漁村の宝」の魅力と選定式を報告するとともに、イベント情報を告知。
- 阿南市ケーブルTVや新聞で、お米の有効活用、クッキング、防災＋子供の食堂当等の活動が報道。

前回選定後に発展させた取組及び成果

- 「子供の食堂」を立ち上げ、これまで6回開催。5回目以降は防災対策をプラスし、太陽光発電でためたエネルギー活用の実体験できる食堂になる。
- お米を使ったパンは好評で、市外、県外からも多くの来店があり、地元のお米と蜂蜜を使った食パンは、1日に200斤が完売。
- 「新野源流米」が徳島県「ふるさと納税返礼品」に登録。農家たちのより意欲的な米作りにつながる。

応募団体からのアピール・メッセージ

縁があって移住したこの町を、地域のたくさんの方たちと一緒に、子育てから魅力ある町づくりに意欲的に取り組んでいきたい。

住所・電話番号・SNS等

阿南市新野町東山56-4 Tel:090-3450-8853

記念賞
応募

かぶしきがいしゃ

株式会社リブル

～オイスターファーマーをあこがれの職業に！～



ブランド牡蠣“あまべ牡蠣”

技術相談 | 支援: 24週間
種苗出荷: 12箱
成苗出荷: 13箱



広がるリブルネットワーク



全国商工会冊子の表紙を飾る

取組内容

- 牡蠣養殖技術のAI化と強い種苗を通じて「誰でも・どこでも・牡蠣養殖ができる」養殖技術の汎用化を目指す。
- 牡蠣養殖のデータやアプリを活用し、養殖技術の見える化の実現。
- IT技術を駆使した新しい姿の水産業を次世代の子供たちに知ってもらうために、教育現場への出前授業や漁場案内を実施。

前回選定後の情報発信の取組

- 自社サイトの運営(14,930PV)。
- 「note」でのストーリー発信。
- 求人情報サイト「Wantedly」で採用情報・企業ストーリー発信(募集PVランキング40位/41,397社)。
- 人気漁師YouTuber「漁師まさ」と「まさ&けん」で、リブルの種苗と技術提供。関連動画は累計91万6,000再生回数を記録。
- 新聞・雑誌への掲載やテレビ・ラジオ、外部イベントへの出演のほか、視察も受入れ。

前回選定後に発展させた取組及び成果

- 株式会社リブルが開発した牡蠣のスマート養殖システムを他地域に展開。
- 種苗開発、技術支援によるリブルネットワークの拡大・連携強化。
- 販路拡大のため、マレーシアへの出荷をスタート。さらにASEAN諸国向け輸出を本格化するために、GFP(農林水産物・食品輸出プロジェクト)に参画。
- 移住者や地元住民の従業員雇用を実現し、創業時3名から15名に拡大。
- クラウドファンディングを実施し、海陽町内の地元漁協跡地を新たな拠点として整備。

応募団体からのアピール・メッセージ

水産学部の生徒を定期的に採用し、就職の選択肢に水産事業者があることを示す。新卒採用をはじめとした20代中心の人材募集に力を入れ、就職の選択肢に水産業が選ばれる世界を目指す。

住所・電話番号・SNS等

海部郡海陽町穴喰浦字那佐337-55 Tel:0884-70-5888